

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録(CTなどの画像、採血結果、病理結果)を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

肝切除患者を対象にした栄養および体組織評価と腹壁癒痕ヘルニア発生に関する後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 永岡智之（肝胆膵・乳腺外科 医員）

【研究の目的】

過去に肝切除を受けられた原発性肝細胞癌、肝内胆管癌、肝門部胆管癌患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、腹壁癒痕ヘルニアの発生に関する研究を行うことといたしました。この研究は術後合併症の一つである腹壁癒痕ヘルニア発症の危険因子として栄養や体組織評価（骨格筋量や筋肉内脂肪含有量）が関係するかを検討することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2008年9月から2019年9月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち肝細胞癌、肝内胆管癌、肝門部胆管癌と診断され肝切除を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、手術日、術後合併症（腹壁癒痕ヘルニア）、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科
永岡智之

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 永岡智之

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327